

1 生徒の体力・運動能力等の現状

令和4年度全国体力・運動能力等調査結果から
 体力・運動能力では、男子は全種目において全国平均を下回った。女子はハンドボール投げのみ全国平均を上回った。
 質問紙調査では、「運動は好き・やや好き」が男子 84%、女子 59%、「運動は大切」が男子 91%、女子 83%、「自主的に運動」が男子 88%、女子 55%である。男女間の差はあるが「運動は大切」と考える生徒が多い。平日にスマホ等の使用時間3時間以上の生徒が1・3年生は約4割、2年生は約5割とスマホ等の使用時間が多い現状である。

2 生徒の体力・運動能力等の現状から分析した課題

「授業は楽しい」が、男子は93%、女子は82%であることから、「できる喜び」「上達する喜び」を感じることで「自主性」が育まれる授業へのさらなる改善が課題である。
 そして、授業で習得した内容をもとに、帰宅後も実践し、体力向上や技能向上につなげられるように各家庭と連携・協力しながら進めることも課題である。
 体力・運動能力の向上はもちろん健康的な毎日を子どもたちが送るために、各家庭や地域とつながり、育てていくことが課題である。

3 学年ごとの目標（数値目標）

<体力・運動能力>

学年	目 標
1年	・新体力テスト2種目以上で全国平均と同等以上。
2年	・新体力テスト2種目以上で全国平均と同等以上。
3年	・新体力テスト2種目以上で全国平均と同等以上。

<生活習慣・運動習慣>

学年	目 標
1年	・平日のスマホ等の使用時間3時間以上の生徒を30%未満にする。
2年	・平日のスマホ等の使用時間3時間以上の生徒を30%未満にする。
3年	・平日のスマホ等の使用時間3時間以上の生徒を30%未満にする。

4 生徒の体力・運動能力等に応じた具体的な取組

(1) 保健体育授業内での取組

- ①授業改善による学習内容の習得と技能向上
- ②保健で「食」「健康」「睡眠」の意識を高め、生活習慣の改善を図る。

(2) 保健体育授業以外の年間を通じた取組

- ①P T Aと協力した生活習慣改善に向けた取組
- ②昼休みの体育館・グラウンドの活用の奨励

(3) 保護者や地域と連携した取組

- ①P T Aとの合同体育的行事
- ②学校運営協議会からの啓発

1校1実践 校内体育大会の実施

5 実施計画

年月日	計 画 内 容
R5年	
4月	・「体づくり運動」の充実 ・部活動の実施 ・体育の授業における「陸上競技」の実施
5月	・ ・
6月	○新体力テスト実施 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査実施
7月	・中体連大会 ・体育大会 ・保護者・生徒アンケート、職員自己評価①の実施
8月	○新体力テスト結果分析 ○体力向上改善プランの評価・改善
9月	・保護者・生徒アンケート、職員自己評価①の分析結果の公表 ・
10月	・ ・ ・
11月	・ ・ ・
12月	・保護者・生徒アンケート、職員自己評価②の実施 ・ ・
R6年	
1月	・保護者・生徒アンケート、職員自己評価②の分析結果の公表
2月	○保護者への調査結果の説明 ○体力向上改善プランの評価・改善 ・
3月	○新体力向上改善プランの作成 ・ ・

6 評価方法

(1)

- ①各種アンケート・評価・調査
- ②各種アンケート・評価・調査

(2)

- ①各種アンケート・評価・調査
- ②各種アンケート・評価・調査

(3)

- ①各種アンケート・評価・調査
- ②各種アンケート・評価・調査